

「森林サービス産業(仮称)」キックオフ・フォーラム

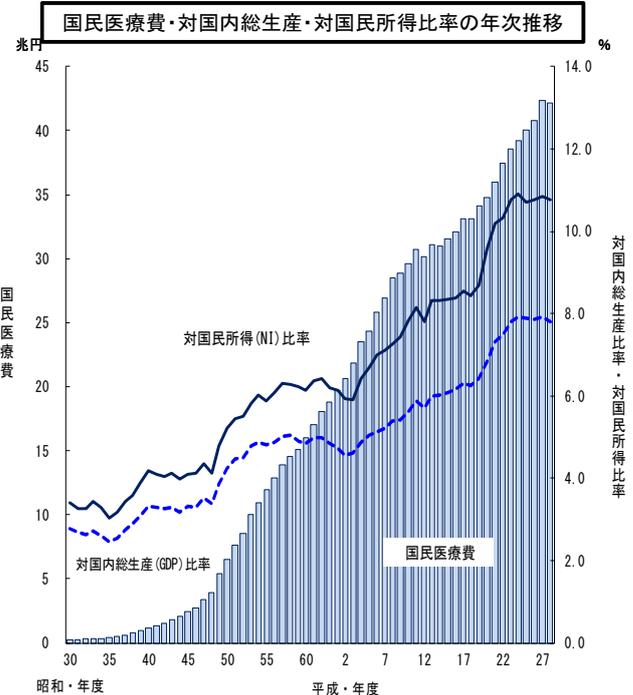
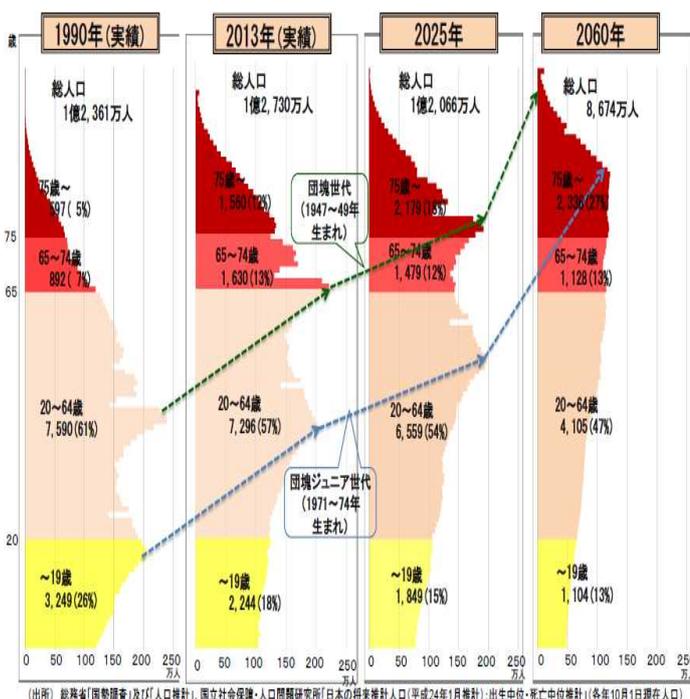
森林等の自然空間を 活用した保健事業について



理事長 安藤 伸樹

日本の人口ピラミッドの変化と国民医療費

- 団塊の世代が皆75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
- 2060年には、人口は8,674万人にまで減少するが、一方で65歳以上は全人口の約40%以上となる。
- 国民医療費について、28年度は減少しているが、近年上昇傾向である。

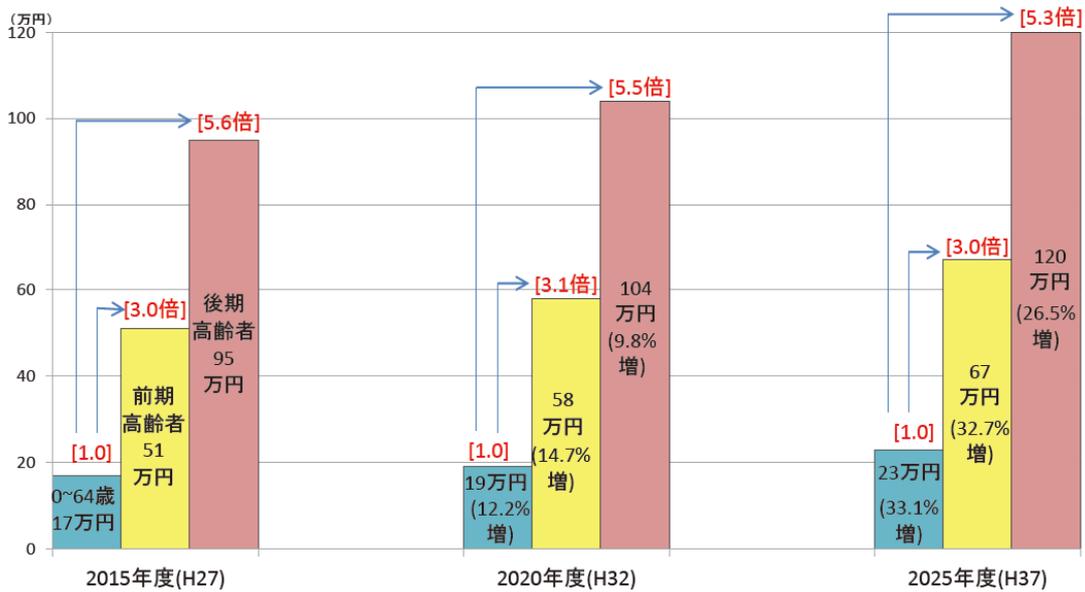


(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保険・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」、出生中位・死亡中位推計「各年10月1日現在人口」

出典:「平成28年度 国民医療費の概況」厚生労働省 政策統括官付参事官付保健統計室国民医療費統計係

1人当たり医療費の推計

1人当たり医療費は、前期高齢者は2015年度の51万円から2025年度には32.7%増の67万円、後期高齢者は、95万円から2025年度には26.5%増の120万円に増える見通し。前期高齢者の1人当たり医療費は0～64歳の3倍程度、後期高齢者は5倍超となっている。



[]内は0～64歳を1.0とした時の倍率。

()内は2015年度からの伸び率(端数調整により合わないことがある)

(健保連推計による)

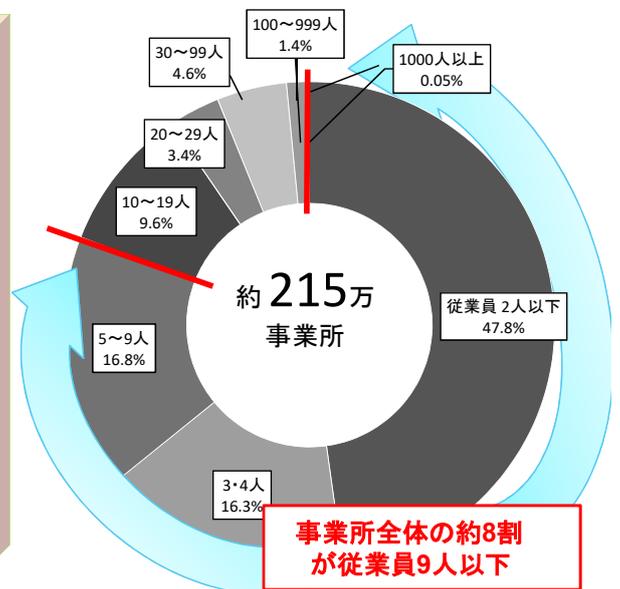
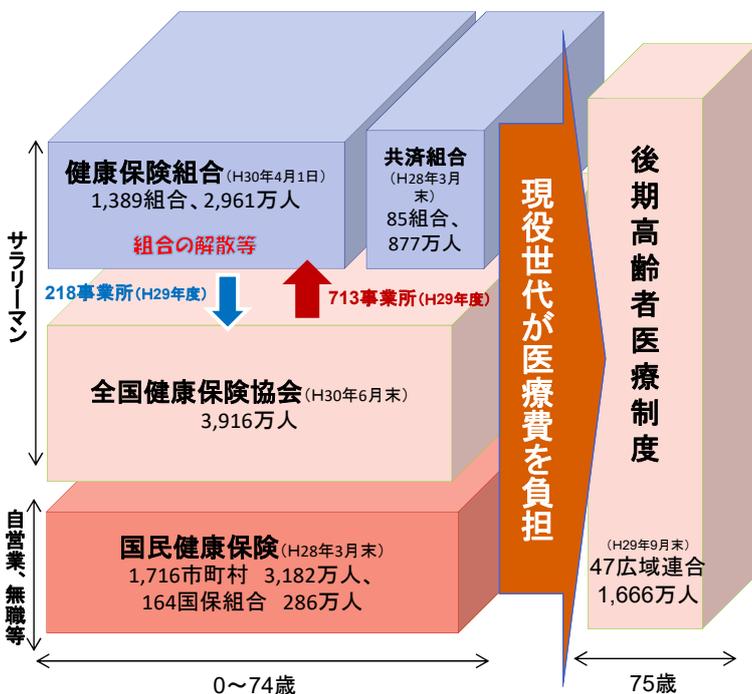
(出典) 健康保険組合連合会公表資料 (2017年9月) 「2025年度に向けた医療・医療保険制度改革について」

全国健康保険協会（協会けんぽ）の規模

- 215万事業所、3,916万人（国民の3.2人に1人）が加入する日本最大の保険者。
- 中小・小規模企業が多く、事業所全体の約8割が従業員9人以下。

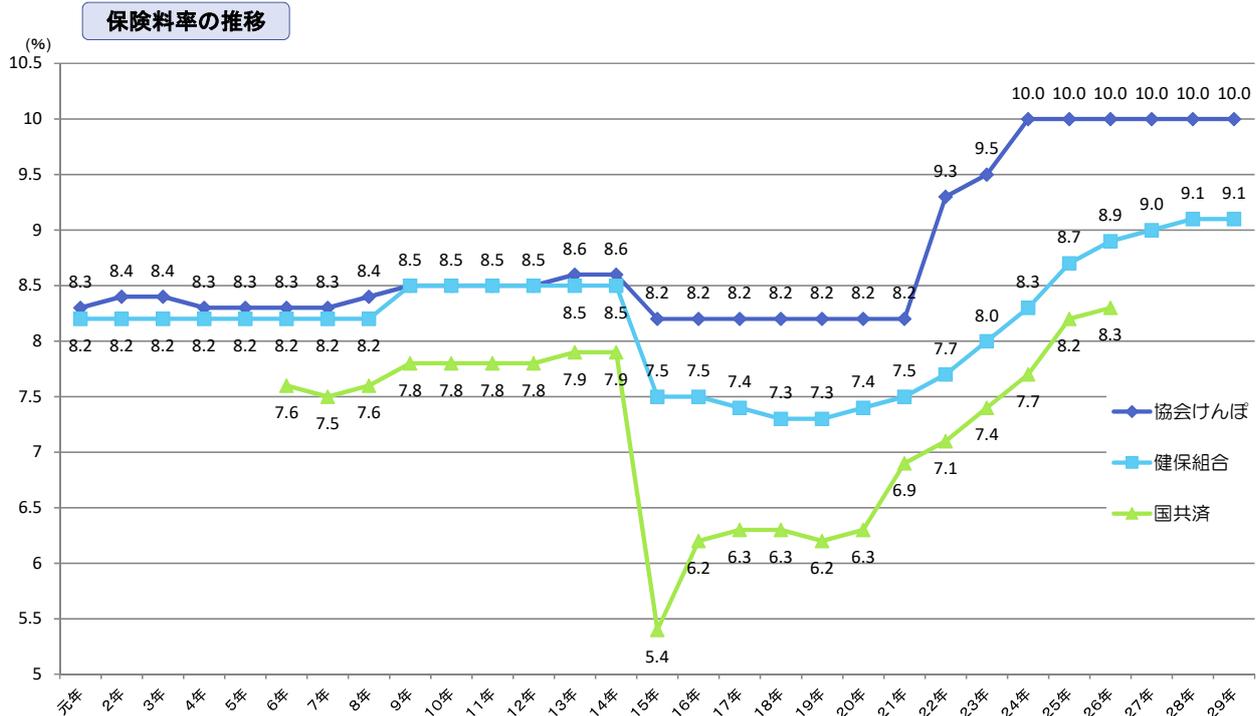
各医療保険者の位置づけ

協会の事業所規模別構成(30年6月末)



被用者保険の健康保険料率

- 協会けんぽの健康保険料率は平成24年度から10%
- 健康保険組合及び共済の健康保険料率も上昇傾向

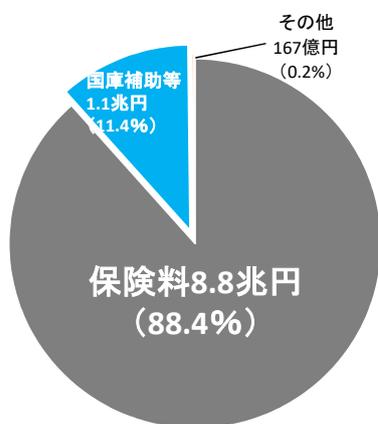


4

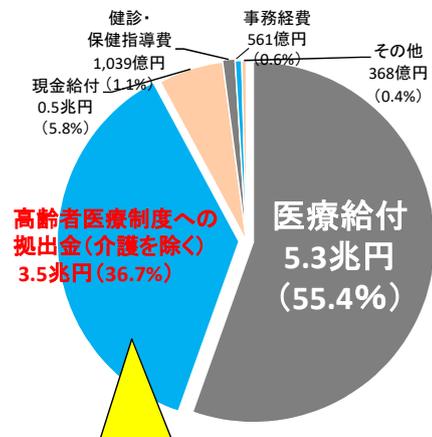
協会けんぽの財政構造（29年度決算）

- 協会けんぽ全体の支出は約9.5兆円であるが、その約4割が高齢者の方々の方々の医療費の一部を負担する高齢者医療制度への拠出金等に充てられている。
- 健康保険組合においては、赤字組合が580組合（全組合の41.6%）、協会けんぽの平均保険料率（10%）以上の組合が314組合。

収入 9兆9,485億円



支出 9兆4,998億円



- 協会けんぽの支出の36.7%が高齢者医療の負担に充てられています。
- 健康保険組合では、支出の43.7%（3.5兆円）と発表されています。

注) 端数整理のため、計数が整合しない場合がある。また、数値については今後の国の決算の状況により変動し得る。

5

今後、保険者に求められる役割

- 団塊の世代が皆75歳以上となっている2025年以降、医療費がますます増大する見通しであり、国民皆保険制度の維持において課題となっている。
- 健康保険料率は10%となり、現役世代の負担はすでに限界である。



高齢者医療について、安定的な財源を確保し、世代間の給付と負担の在り方を公平に見直すことが必要。



しかし、見直しを待つ時間的余裕はない



- 国民に対して、国民皆保険制度が危機的状況であることを知らせる必要がある。
- 保険者として、**加入者の健康意識を高め、自ら健康づくりに取り組みやすくなるような環境を整備する**必要がある。
- 結果として、国民一人ひとりの健康度の向上につながり、国民皆保険制度の維持に資することとなる。

6

協会けんぽにおける「健康意識を高める環境づくり」について

- (1) コラボヘルスの推進
- (2) 加入者への健康づくり情報の発信
- (3) 子どもの頃からの健康教育
- (4) 健康づくりの裾野の拡大

※森林等の自然空間を活用した保健事業の実施

7

(1) コラボヘルスの推進

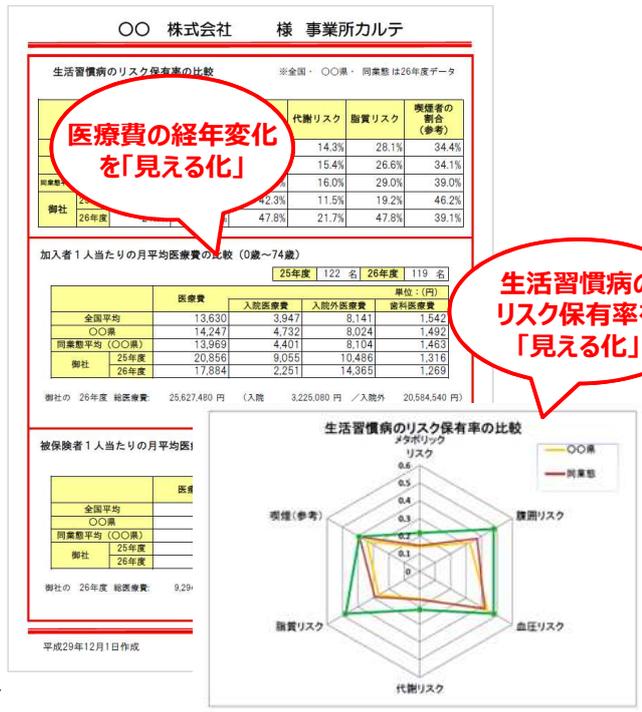
●協会けんぽが保有するビックデータ（健診・レセプトデータ等）を活用し、企業に対して、自社の従業員の健康度を見える化した健康スコアリングレポート（事業所カルテ）を提供する。それにより、企業の健康経営®を啓発・サポートし、事業主と協働で加入者の健康づくりを促進する。

事業所カルテの掲載内容

- 以下の項目について、事業所単位で従業員のデータを「見える化」。(一部は経年データ有り)
- 全国平均・支部平均・業種平均との比較などを掲載。

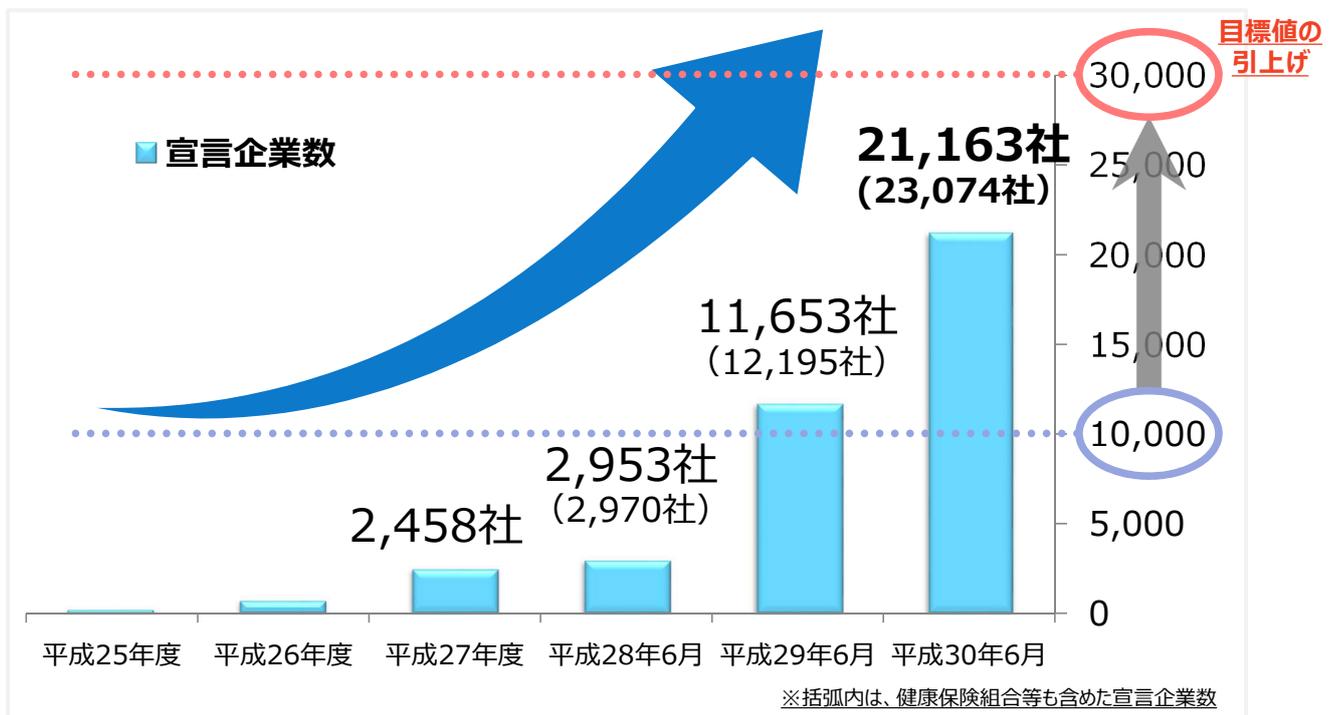
掲載項目
加入者一人当たり医療費
被保険者一人当たり医療費
高血圧リスク保有率
脂質異常症リスク保有率
糖尿病リスク保有率
腹囲リスク保有率
喫煙リスク保有率
メタボリックシンドロームリスク保有率

※健康経営®は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です



健康宣言等に取り組む宣言企業数の推移

■ 協会けんぽの全47支部において健康宣言事業を実施。地方自治体や経済団体、金融機関などと連携を図り、地域の実情に応じた取組を進めることにより、平成30年6月時点の健康宣言企業数は**21,163社**。



(2) 加入者への健康づくり情報の発信

- 健康に関する様々なデータ・情報・アドバイスを加入者に提供することにより、個人の生活習慣の変容を促す。

⇒ 健康に良い食材、レシピなどの情報、喫煙が及ぼす人体への影響に関する情報、日常生活の中で気軽に取り組める運動に関する情報、等々

5月 朝食が健康リズムを生み出す

●朝食は体を目覚めさせる



・朝食、食べていますか？

朝の時間は、貴重なモノ。1分1秒でも寝ていたいという人、「朝食を抜けばダイエット」されている人、朝食を食べなくても1日2食で十分という人など、色々な人がいらっしゃる。厚生労働省の「国民健康・栄養調査」の調べでは、朝食の欠食率は男性で15.4%、女性で17.1%です。男女ともに20歳代の欠食率が最も高く、男性で37.4%、女性で23.1%と高いです。

11月 鮭と秋野菜のイタリア風仕立て

平成30年11月01日



あぶらがのって美味しい旬の鮭を粉チーズを入れた小麦粉でまぶし、香ばしく焼くことで、魚に含まれる良質なあぶら、“DHA・EPA”を逃さず食べられるレシピです。鮭の皮をパリッと焼くため、鮭の臭みも気にならずに皮までいただけます。付け合わせは秋野菜をケチャップとオリーブオイルでイタリア風に仕上げ、バジルを添えました。

10

(3) 子どもの頃からの健康教育

- 生活習慣病を予防するためには、若いうちからの適切な食生活や運動習慣を心がけることが重要。子どもの頃からの健康教育等を行い健康へ意識付けを行う。

⇒ 試行的に小学生や中学生を対象とした健康教室の実施

➤ 福島支部、徳島支部

小学校や中学校での「健康教室」の開催

- ・支部保健師による生活習慣病や健康診断、病気を予防する食事のとり方や運動の仕方について講演

➤ 秋田支部

小学校及び中学校での「がんやタバコに関する健康教室」

- ・支部保健師によるがん検診を含む健診の重要性やタバコの害について講演



生徒たちに対する健康への意識付けを行うと同時に、生徒から親世代への健康的な生活習慣に関する知識等の波及効果を期待

11

(4) 健康づくりの裾野の拡大

● 既存の保健事業、啓発活動に加え、健康づくりの裾野を広げる新たな施策を実施する。

⇒ 森林空間を活用した健康づくり等

協会けんぽ
長野支部主催

信濃町 森林ウォーク in 黒姫高原 を 開催しました

- 日程** 2018年7月29日
- コース** 森林セラピー基地「信州信濃町癒しの森」
童話の森コース、御鹿池コース 約5km
- 対象** 協会けんぽ加入事業所の加入者
- 特徴** ①森林セラピー基地で森林浴が体験可能
②森林メディカルトレーナーが、自然観察や森の魅力を案内



大雨の影響で7月7日から7月29日に延期となった当イベントでしたが、晴天のもと、開会式では東京音楽大学の学生によるサプライズ演出もあり、爽やか気持ちでスタートすることができました。

およそ5kmの道のりを森林メディカルトレーナーの案内のもと、森林浴を楽しみながら、歩いていただきました。

12

(参考)「標準的な健診・保健指導プログラム」

～「保健指導」として「宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラム」が記載～

標準的な健診・保健指導プログラム (目次)

第3編 保健指導	
第1章 保健指導の基本的考え方	3-1
第2章 保健事業（保健指導）計画の作成	3-6
2-1 保健事業（保健指導）計画作成の進め方	3-6
2-2 保健事業（保健指導）計画作成にあたっての現状分析と分析結果の整理	3-8
2-3 保健事業（保健指導）の目標設定	3-13
2-4 保健事業（保健指導）計画の作成	3-15
第3章 保健指導の実施	3-18
3-1 基本的事項	3-18
3-2 保健指導における情報提供	3-34
3-3 情報提供・保健指導の実施内容	3-34
3-4 望ましい保健指導	3-53
3-5 保健指導のプロセスと必要な保健指導技術	3-56
3-6 保健指導の未実施者及び積極的支援の中断者への支援	3-63
3-7 「無関心期」、「関心期」にある対象者への支援	3-64
3-8 2回目以降の対象者への支援	3-64
3-9 特定保健指導の対象とならない非肥満の脳・心血管疾患危険因子保有者に対する生活習慣の改善指導	3-65
3-10 宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラム	3-67
第4章 保健指導の評価	3-69
第5章 地域・職域における保健指導	3-74
5-1 地域保健と職域保健の保健指導の特徴	3-74
5-2 地域・職域連携による効果	3-76
【別添1】保健指導のための禁煙支援簡易マニュアル	3-79
【別添2】保健指導におけるアルコール使用障害スクリーニング（AUDIT）とその評価結果に基づく減酒支援（ブリーフインターベンション）の手引き	3-93
【別添3】特定保健指導の対象とならない非肥満の脳・心血管疾患危険因子保有者に対する生活習慣の改善指導	3-101
【別添4】宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラム	3-111

多機関・多職種連携ですすめる宿泊型新保健指導 (スマート・ライフ・ステイ) プログラム

効果的、実践的な保健指導の実施⇒健康寿命の延伸
地域の活性化、ヘルスケア産業の健全な育成

新しいプログラムの共同開発
今まで効果が上がりにくかった対象者への保健指導

専門職による保健指導

- 体験学習の中でより重点的な保健指導
- 参加者の疑問・実態を知る
- 多職種連携により、指導の幅が広がる
- 健康な環境づくりに貢献できる

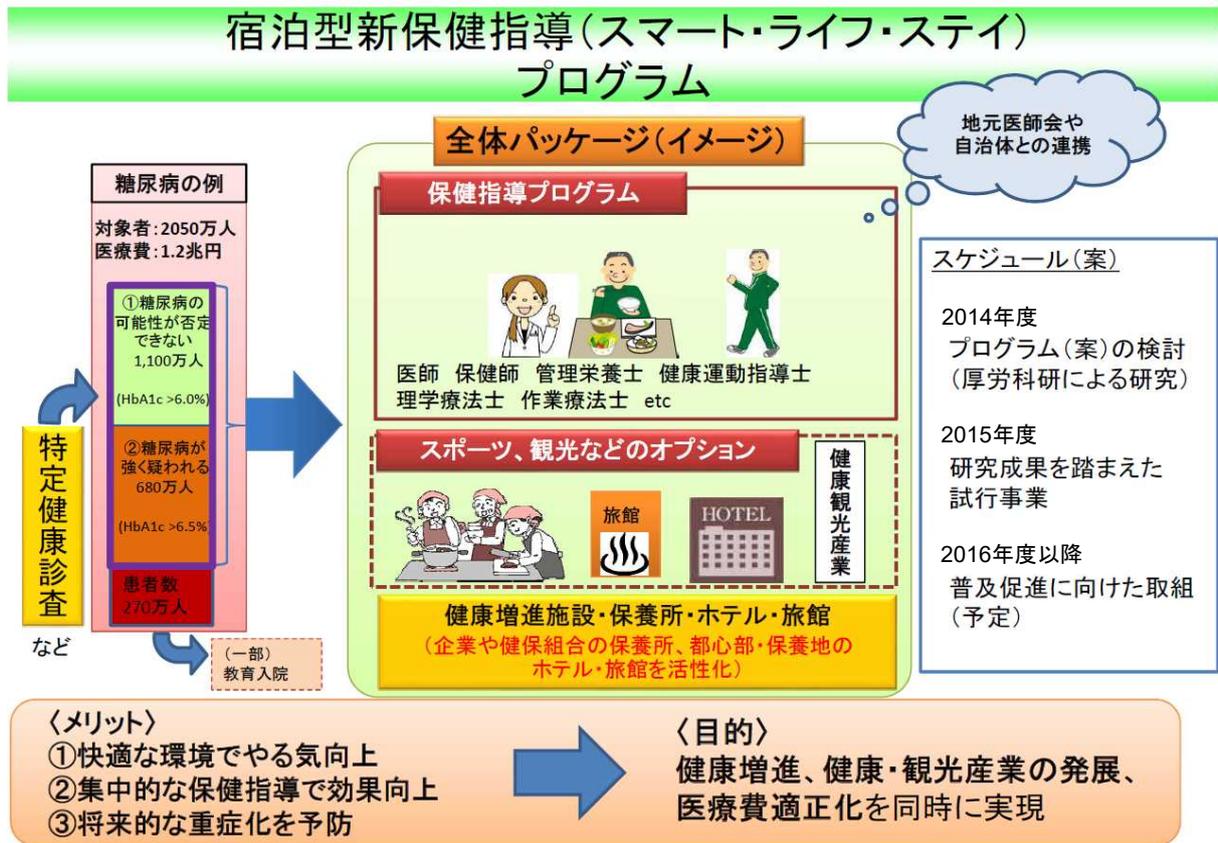
宿泊・地元観光施設

- 新たな宿泊スタイル、顧客層の開発
- 健康的な食事を管理栄養士等と考案しメニュー開発
- 身近な自然や施設の利活用等
- 医療保険者や保健指導実施者等とのネットワーク

➢ 従来の保健指導では十分に効果が得られなかった者や健康への関心が低い者に対する保健指導の新たな選択肢として、宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラムを位置づけ。

➢ より効果性が高く重点的な保健指導プログラムとして、保健指導対象者の健康課題や保険者等の実情に応じて、利活用することができることとしている。

➢ 本プログラムの実践を通して、保健指導実施者と宿泊施設等の地域資源との連携が深まることにより、従来の枠組みを越えた多様な地域連携の強化と資源発掘、人材育成を促進し、これらが波及することによって健康な地域づくり推進に貢献することができる。



(4) 健康づくりの裾野の拡大

宿泊型保健指導(2018年度パイロット事業)の実施

- 協会けんぽにおける宿泊型新保健指導については、2018年度にパイロット事業として2支部で試行実施し、集客や費用対効果等、(全国展開に向けて)課題の検討を行う。

宿泊型新保健指導(愛知支部)のご紹介

愛知支部のプランでは、メディカルチェックや運動実技、健康の森公園内をウォーキングするなど、健康意識を高める内容となっています。

保健指導プログラム 9/29(土) ~ 9/30(日) 定員: 20名 (定員に達した場合抽選となります)

■集合: 9/29 9:00 ■終了予定: 9/30 15:30 ■場所: あいち健康プラザ<知多郡東浦町>

1日目 9/29(土)

9:00 あいち健康プラザ 1F会議室
(大府駅より無料送迎バスで12分)

- メディカルチェック
- グループワーク
- 運動実技
- 昼食
- 検査結果説明
- グループワーク
- チェックイン
(フリータイム)
- 夕食

選ぶ フリータイム

- 温泉でゆったり
- リラクゼーション体験
- お部屋でゆっくり
- 健康の森公園散策
- げんきの郷(買い物&足湯)

2日目 9/30(日)

- 体重測定★
- 朝食★
- ウォーキング★
- ウォーキング
- げんきの郷
- 昼食
- ヒノキの管づくり体験
- 目標再設定

15:30

午前 3回の血糖値測定

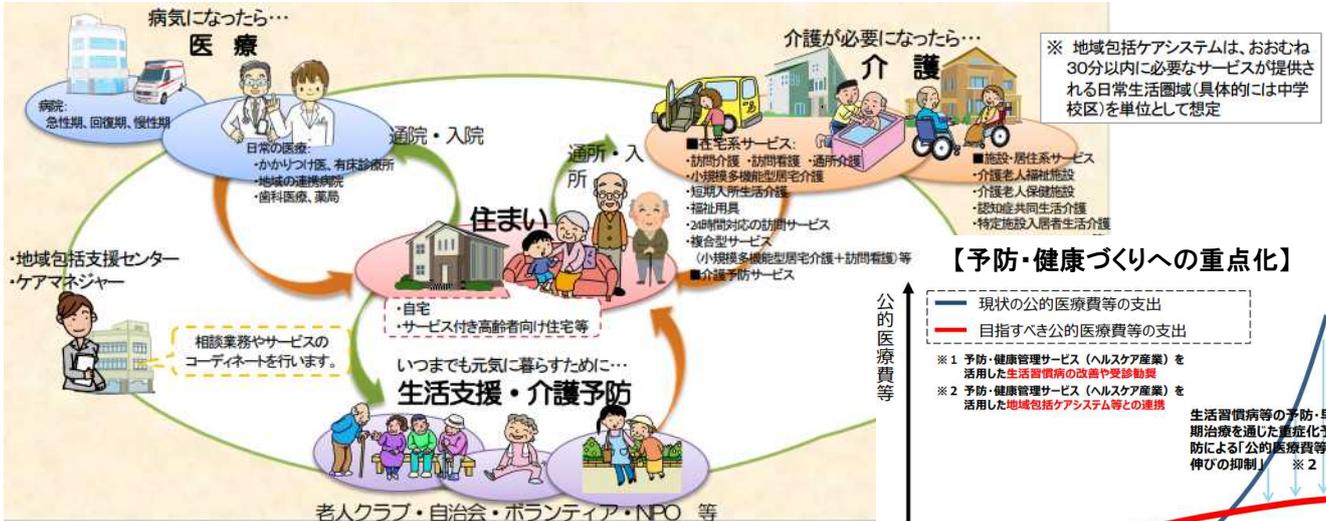
★のタイミングで実施

午前 公園内ウォーキング

② 疾病予防・健康分野(老年期) / 「地域包括ケアシステム」「ヘルスケア産業」

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築の実現を構想
- 就労期には「予防・健康管理サービス(ヘルスケア産業)」を活用した**生活習慣病の改善や受診勧奨**を通じた「**予防や早期診断・早期治療の拡大**」を、老年期には「**予防・健康管理サービス(ヘルスケア産業)**」を活用した**地域包括ケアシステム等との連携**により、生活習慣病等の予防・早期治療を通じた重症化予防による「**公的医療費等の伸びの抑制**」が構想

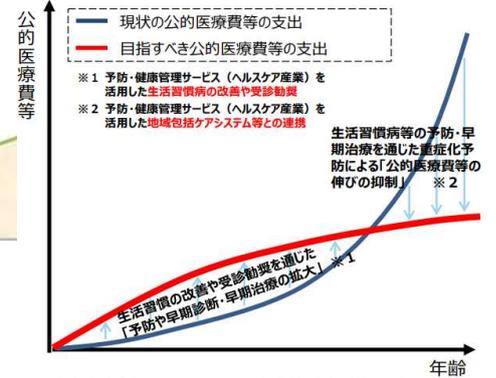
【地域包括ケアシステムの姿】



資料:厚生労働省ホームページ「地域包括ケアシステム」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/

※出典:「森林サービス産業(仮称)」検討委員会報告書
 「森林サービス産業」の創出に向けて～新たな森と人のかかわり「Forest Style」の創造～
 〈概要・参考資料〉

【予防・健康づくりへの重点化】



資料:経済産業省「次世代ヘルスケア産業協議会(第7回)-配布資料」